

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)1月12日
所属名:湖東農産普及課
番号:F23029
部門分類:425(集落営農)
発信者名:富岡、和田

「河瀬アグリネット」が連携組織の法人化に向けた研修会を開催

集落営農法人連携組織「河瀬アグリネット」(ファーム犬方、つづらファーム、河瀬西部営農組合、KGファーム)が、連携組織の法人化に向けた研修会として12月9日に兵庫県神戸市の農事組合法人神出アグリを訪問しました。

農事組合法人神出アグリ(以下、神出アグリ)は、令和3年3月に神戸市西区神出町の5集落の営農組合(1集落のみ法人組織)で設立された構成員179名、耕作面積65haの組織です。

合併に当たっては、旧営農組合の独自性を最大限に生かし、無理のない合併をするため「本支店方式」(2階建方式)を採用しています。本店(神出アグリ)の事務機能はJAが担い、支店間の調整や各種補助金申請業務等を担当し、支店(旧営農組合)は各営農組合の業務を継続し経営の決定権は各支店が担っています。

合併後は、これまでの水稻主体の経営から、大豆、小豆など収益の高い品目に共同で取り組み、機械の共同利用や人・技術の共有を図り収益性の向上に繋げています。

また、兵庫県事業を活用し作成した「地域就農定着・応援プラン」に基づき、ビニールハウス6棟(6m×25m)を設置し研修生(1名)を受け入れ、園芸農家としての育成と将来的には営農組合の中心となるよう地域農業の担い手としての育成にも取り組んでいます。

「河瀬アグリネット」は、連携組織の法人化を目指していますが、「神出アグリ」の各営農組合の独自性を生かした本支店方式による体制や機械、人材・技術の共有、新たな人材育成に向けた取組などは今後の連携組織のあり方に大いに参考となりました。

当課では、引き続きJAと連携し「河瀬アグリネット」の法人化に向けた取組を支援していきます。



神出アグリでの研修風景

